

＜ もくじ ＞	
1. 2022年度総会・大会開催のお知らせ	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 研究会からの概要報告	3
4. 事務局からのお知らせとお願い	5

## 1. 2022年度総会・大会開催のお知らせ

### (1) 2022年度定例総会

2022年度総会は、6月26日に開催いたしますが、コロナ感染のことを考えますと多くの会員にお集まりいただくことは困難であり一昨年度および昨年度と同様、小規模開催とすることになりました。添付ファイルのお知らせのように、一般会員の皆様には総会議案の議決につきまして、電磁式（電子メール）および郵送を組み合わせた方法による議決権行使をお願いすることになり、いずれを選択いただくかについてのお問合せをして、5月12日の締め切りまでにご回答いただいた方法に従って議決権行使をお願いいたします。メールをお使いの会員はご指示がない限り電磁式（電子メール）での議決権行使をお願いいたします。

2022年度総会では、通常第1号議案（2021年度活動報告）、第2号議案（2021年度収支決算報告）、第3号議案（2022年度活動計画案）、第4号議案（2022年度予算案）のほか、第5号議案として役員改選があります。また6月26日付での事務所移転により、第6号議案として定款の改訂も必要になります。よろしくごお願い申し上げます。

### (2) 2022年度第21回大会

今年度から当学会では、2021年度の長期計画検討委員会の議論を踏まえて、従来の超高齢化、人口減少に加えて、新自由主義と働き方改革（非正規労働の拡大）、ICT・AI技術の発達、そしてコロナ禍など、時代の大きな変化を背景に、格差や差別の問題についての現状を再確認し、今後の当学会の課題を見直すことを3年間の大会の共通テーマとして掲げることになりました。そして、その第1年目のテーマとして、今年度は「現代日本における年齢格差～若者世代と高齢者世代の協調・連帯を求めて～」としました。2年目は、ジェンダーの平等を扱い、3年目はあらゆる格差や差別を撤廃し、「誰ひとり取り残さない社会」の実現をめざすための課題を検討したいという構想です。

現代社会は、高齢者世代と若者が共に生活する上で、働き方の急激な変容やキャリア変更への要因の多様化、ICTやAI技術の発達により情報環境が大きく変化したこと、コロナ禍に対する対応などから知識や経験の質が変わり、必ずしも高齢者の経験や知識がつねに優位に立つわけではなく、また相互の理解に基づく協力や支援の意味も変化し、新たな課題が生み出されているように思われます。2022年度大会は、基調講演として実践女子大学の原田 謙先生に、コロナ禍を背景に社会調査から見えてくる世代間関係についてのお話をいただき、高齢者の立場から2名、若者世代の立場から2名のパネリストに世代間の間に見られる協調の難しさや抱えておられる問題などについてお話しいただく予定です。現代日本における年齢格差をめぐる実態を深く見つめる機会になることを期待しております。

1) 日 時：2022年6月26日（日） 14：00～17：00

- 2) 開催方法：会場開催（オンライン併用）
- 3) 開催場所：日本労働者協同組合連合会会議室 池袋IPSビル8階
- 4) 大会テーマ：「現代日本における年齢格差～若者世代と高齢者世代の協調・連帯を求めて～」

#### I. 基調講演：原田 謙（実践女子大学教授）

「エイジズム」を再考する：ポストコロナ時代の世代間関係

#### II. シンポジウム

・司会：袖井孝子（当学会会長）

・パネリスト：

★ 小原芳郎（自然観察指導員）

★ 寺本眞子（当学会会員、共生まちづくりコーディネーター）

★ 小暮 航（ワーカーズコープ広島）

★ 野坂 真（当学会会員、早稲田大学講師、大槌町で調査・支援活動に従事）

・閉会の辞：濱口晴彦（当学会副会長）

5) 参加費：1,000円（Peatix、振り込み）

参加費の払い込みは、昨年の連続講座と同様、原則として事前にPeatixから払い込んでいただくようお願いいたします。それが難しい場合には、銀行振り込みも受け付けます。当日会場では金銭のやり取りはしないように考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

詳しくは、添付の大会プログラムをご参照ください。

## 2. 研究会からのお知らせ

### (1) 第31回「社会情報」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2022年5月25日（水） 15:00～17:00

2) 場 所：上野区民館201会議室（東京都台東区池之端1丁目1-12）

3) 概 要：俱進会助成事業 調査項目検討

4) 参加費：400円

※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

### (2) 第141回「社会保障」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2022年5月25日（水） 18:00～20:00

2) 報告者：水谷 忠由（厚生労働省保険局医療介護連携政策課長）

3) テーマ：「デジタル化で変わる我が国の医療」

4) zoomでいたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。

阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp      小島みさお kojima.misao01@gmail.com

※ ご質問がありましたら、阿部（旧姓佐藤）まで

### (3) 第78回「シニア社会のリテラシー」研究会

1) 日 時：2022年5月26日（木） 15:00～18:00

2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室

3) テーマ：発表と討議 — 『日本国憲法』（小学館刊）を読み解く～東京新聞切り抜き記事を中心にして～

4) 発表者：島村 健次郎

5) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）までお願い致します。

### (4) 第22回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

1) 日 時：2022年5月28日（土） 17:00～20:00

2) 場 所：荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋 201

3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会

#### 4) テーマ：認知症と任意後見制度

びしょうざ

#### 劇団 「B笑座」 第9回。

「私にとって 認知症とは」です。

認知症らしさを体験することで新たな発見が生まれます。

劇団員募集しています。Zoomの参加もできます

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme\_masumi@yahoo.co.jp) 迄お願い致します。

### (5) 第32回「ライフプロデュース」研究会のご案内

1) 日時：5月31日(火) 17:30~19:30

2) テーマ：2021年3月に発表された、男女格差を測るジェンダーギャップ指数(経済・政治・教育・健康の4つのデータ)によると、日本の順位は156か国中120位、先進国の中では最低レベル、韓国、中国、ASEAN諸国より低い結果となりました。

◇テーマ1：【男社会】で、私の生き残り戦略、妻として、嫁として、母として、働く女性として。

これまで、そしてこれから。(担当：寺本)

◇テーマ2：なぜ、日本は政治の世界に女性が少ないのか。男性の視点から。(担当：小川・若井)

■参考資料:女性活躍 男女共同参画の現状と課題 令和4年4月 内閣府男女共同参画局 ka14-16.pdf (gender.go.jp)

※参加希望の方は、中村までご連絡ください。(nakamurayoshiko6@gmail.com)

## 3. 研究会からの概要報告

### (1) 第30回「社会情報」研究会の報告

1) 日時：2022年4月20日(水) 15:00~17:00

2) 場所：Zoom開催

3) テーマ：

① 俱進会調査研究について(八巻さん)

俱進会に「高齢者のデジタル・インクルージョン達成のための方策に関する探索的研究」というテーマで研究助成の応募が採択された。

1) 全体計画(スケジュール)

・倫理審査は八巻さんが対応。

インタビューの設計とスクリーニングをしっかりとやる

インタビューフローを作る時間をとる

何を聞くかはしっかりと決めておく

\*対象者グループで質問が異なることも検討が必要?

\*グループ特徴などの把握のために、利用や意識の仮説出しも(必要であれば)行いたい。

2) インタビュー対象者の分類

・2類型(積極的・あまり使っていない)でリクルーティングしていく

・ヒアリングの中でその中を分類していく

\*グループ分けはJames Richardson(2018年)の分類の類似型になろうが、

\*インタビュー対象者は1950年以前生まれとするため、その点でもリクルーティングの状況により対象者は調整が必要。

・聞き取りの中でデジタル機器はスマホに焦点をあてる

・5月25日の研究会までにインタビューフロー、スクリーニングの項目をまとめる

② ナルク市川のデジタル化の取組(柴田さん)

リクルートと企画は並行して7月一杯で行う→実施は8月以降
------------------------------

- ICT を暮らしの中で使いこなすという活動をしたい  
デジタル化の理解促進、デジタルをどう使うか
- 機器はスマホに絞って、スマホの実習←これからはスマホが中心となる、コストと使い勝手
- ナルクのスマホ講座は、3本立て（学生ボランティア、独自の講座、市川市の講座）
- 学生や市のインストラクターともつながったので、関係をデジタルの中で広げていきたい

21（森 記）

## (2) 第21回 「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2022年4月23日（土） 17:00~20:00
- 2) 場 所：荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋 201
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員（YNS やまぶき任意後見サポート会）
- 4) テーマ：認知症を楽しく過ごすには

びしょうざ

### 劇団「B笑座」第8回。

「人形劇」も混ぜて、楽しく寸劇を行いました。日々の練習の成果がでているでしょうか。Zoom 参加者も増えました。今後に活かしたいと思います。

## (3) 第31回 「ライフプロデュース」研究会開催報告（Zoom 開催）

- 1) 日 時：2022年4月26日（火） 17:30~19:30
- 2) 参加者：計8名

**テーマ1：あなたにとって実践できる身近なSDGsとは。日常生活での具体的な行動指針をそれぞれ紹介してください。**

SDGsのVisionを17の目標に沿って確認後、それぞれの身近なSDGsについて発言。食品ロス対策についての話題が多かった。目標12の「つくる責任、使う責任」、顔の見える農家野菜は食べきる、食べ残しを持ち帰るタッパーを行政が用意する高崎市の取り組み、リサイクルした売り上げを介護施設へ寄付、民生委員の広報委員の立場でSDGsを啓発する案、ショッピングモールの再生に関わった上越市で、目標14の「海の豊かさを守ろう」一、点在する地元の取り組みをよそ者目線で繋げプロジェクト化、更に、地元の水族館と商業施設のコラボを実現した話、蔵書の寄付、今後ウクライナ他難民を含む外国人の日本語支援は、目標4の「質の高い教育はみんなに」に繋がること、更に、旬な話題としては、5. ジェンダー平等を実現しよう で、Y野屋常務の不適切発言が話題となり、潜在意識に染みついているジェンダー感について露になった現実を嘆いた。薬剤師歴50年超のH子さんは、目標3「すべての人に健康と福祉を」の観点から、日本の医師は薬の種類を処方し過ぎ、薬に頼り過ぎと発言など。それぞれが、今まで以上に、SDGsを身近に捉えられる意見交換となりました。

**テーマ2 読書会：「マジョリティ男性にとってまっとうさとは何か」#Mee Tooに参加できない男たち 杉田俊介 著（集英社新書 2021）**

先ずは、この本を語るうえで必要な著者の生きて来た時代背景、「ロストジェネレーション世代」、「成長社会と成熟社会の違い」、「アメリカの世代分類との比較」などについて知識の共有。

ロストジェネレーション世代を直訳すると「失われた世代」。2007年リーマンショックを機にバブル崩壊、この就職氷河期に社会にでた人々が、他世代との給与や労働形態の格差に苦しめられていく。非正規労働を続け、結婚もできず、「8050問題」「7040問題」として社会問題化。朝日新聞が2007年に年始特集で当時25歳から35歳の若者の実態を連載し、広まっていった言葉。著者は、「まっとうさとは」について問いかけ、「男とは」とか「日本人とは」とか大きな主語に逃げずに、「個人としての痛みを個人として実感することこそまっとうである、自己放棄（unlearn）し、常に自分を未完成な状態で、生活改善、セルフケアすることが必要であると説く。

日本社会は他国よりも「同調圧力」が強く、「言わぬが花」「長いものには巻かれる」の国民性の傾向があり、ある種のラディカルな発言、態度は糾弾されがちである。ロシア政府の言論弾圧、反政府デモへの弾圧、1969年の反戦歌、「フランシーヌの場合は」などが例にあがり、マジョリティに迎合せず「まっとうさ」を貫くこと、特に政治がらみでは難しいとの意見がでたところで、T

ime Up となりました。二カ月ぶりの参加Sさん、「参加して元気ができました！」のコメント、何よりです。  
(中村昌子 記)

#### (4) 第140回「社会保障」研究会報告要旨

1) 日 時：2021年4月27日(水) 18:00~20:00

2) 報告者：鄭 鐘和(韓国・三育大学教授)

3) テーマ：「韓国の国民年金改革の動向と課題」

参加者 17名

韓国では、国民皆年金制度が1988年度に実施され、2008年度から国民年金が支給されている。2018年の年金改正では、合計特殊出生率の1.24~1.38に基づき年金保険料と年金額などを決めたが、2020年の合計特殊出生率が0.8となり、現在の水準が維持されると2053年度には国民年金財政が枯渇することが予想されている。2022年の大統領選挙の際には、国民年金改革が大統領候補者の重要なテーマとなった。以下では、国民皆年金の現状と年金財政枯渇への対策案を中心に報告する。

第1に、年金制度は、国民年金、公務員年金、軍人年金、私立学校教職員年金、特定郵便局職員年金から構成される。国民年金加入期間は10年、現在の受給年齢は62歳(2033年に65歳)である。年金加入者は、30年間の間に約3倍増加した。収入に占める年金保険料は、日本の18%に比べ韓国が9%で非常に低い水準である。韓国の特徴は、個人年金及び貯蓄が占める割合が高いことである。第2に、国民年金制度改革のポイントは、1) 社会的格差の解決、2) 年金給付率を現在の40%から45%に引き上げること、3) 年金財政基金枯渇に対する対策である。第3に、国民年金制度改革案として、1) 現在の制度を維持型(基礎年金受給者:12%→52%支給)、2) 既存年金強化型(基礎年金受給者55%支給)、3) 老後所得保障強化型1(所得代替率45%、基礎年金受給者57%支給、保険料引き上げ)、4) 老後所得保障強化型2(所得代替率50%、基礎年金受給者62%支給、保険料引き上げ)が提示された。次期のユンソクヨル政権が国民年金改革に着手するかが注目に値する。

韓国の国民皆年金が実施され、年金額受給が15年目を迎えたが、少子高齢社会の影響により国民年金の財政枯渇が問題となっている。持続可能な国民年金制度にするためには、国民皆年金制度の歴史が長い日本から学ぶ点が多いことが示唆された。(金 貞任 記)

## 4. 事務局からのお知らせとお願い

### <会員情報変更時のご連絡のお願い>

コロナ禍中、各種ご連絡をメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報(氏名・住所・eメールアドレス等)に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願いいたします。

### <6月JAAS Newsの発行日>

次回JAAS News第274号の発行日は、6月22日(水)です。原稿をお寄せ下さる方は、6月15日(水)までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

### <事務局の作業をお手伝いして下さる方募集>

JAAS Newsの編集に関して、今年度から新たに1名ご参加いただけることになりました。しかしながら、連続講座や大会、さらにはその他のイベントでもハイブリッド開催など、これまでになかった方法が必要となり、さまざまな領域で新たな工夫をしなければならぬ状況が続いております。これまで通りのイベントの準備や当日の会場整理なども含めて、お手伝いいただける方がおられましたらお申し出いただけますと、大変ありがたく存じます。

無償ですがお手伝いをしてほしいと思われる方がいらっしゃいましたら、その旨、シニア社会学会事務局あてに、eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp にご連絡ください。それぞれの方のご事情もあると思

いますので、どのような形でお手伝いいただけるかはお相談させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月 1 回水オープン）  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/